江丹別若者の郷活性化対策費　（H27事業費　11,986千円）

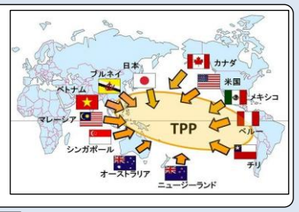
第3回旭川市江丹別若者の郷活性化協議会　資料

平成27年2月9日　農政部農政課

背　景　・　現　状

1．農業・農村を取り巻く状況

◆TPP交渉の進展，農業の6次産業化
・都市住民の農業・農村に対する理解促進・交流拡大が必要
◆本格的な高齢・人口減少社会の到来
・都市周辺部（過疎進行地域）の地域コミュニティの維持が必要



2．都市と農村の交流を推進する必要性

◆本市においても，基幹産業である農業・農村を取り巻く状況が大きく変化する中，今まで以上に，都市と農村の交流を推進し，都市住民の農業・農村に対する理解促進と，過疎化が進む都市周辺部を活性化させる取組の重要さが増している。
①江丹別地域の活性化
同地域は，豊かな自然環境などの地域資源や，都市・農村交流の拠点施設が立地しているなど，地域活性化の潜在力を秘めている。
②グリーンツーリズムの推進
「江丹別地域づくり推進プラン」では，グリーンツーリズムの推進により，地域特性を生かした新たな体験メニューやスポーツ合宿の誘致など，集客力を増すための取組が求められている。

3．求められる対応・課題

◆江丹別地域の活性化のためには，交流人口拡大の中核施設として昭和61年に整備され，現在では地域において唯一の集客施設である「江丹別若者の郷」の活性化が不可欠。
◆地域資源（自然環境，特産品など）を活かし，地域と連携して取組を進めることが必要。

平成26年度の取組結果

1．事業概要

平成26年度は，地域の交流人口拡大の中核施設として昭和61年に整備された「江丹別若者の郷」の活性化を図るため，地域住民等から構成される若者の郷活性化協議会を新たに設置するとともに，閑散期の集客力向上に直結する農産加工機器の導入及び施設の周辺環境整備のための基礎調査を実施した。

2．事業内容　（決算見込）

1．若者の郷活性化協議会の設置【新規】（50千円）
・地域住民等から構成される「若者の郷活性化協議会」を新たに設置し，地域資源を生かした施設活性化策（年間を通じた体験型集客コンテンツ，新商品開発の可能性等）を協議。

2．若者の郷周辺環境整備調査事業【新規】（1,253千円）
・江丹別イチイ並木（70本存在）への本市対応策を判断するため，樹木医による樹木診断を実施。
・結果，早急な伐採撤去を要するものが，45本あることが判明。
・環境に適した樹種による並木再生についての提言あり。

3．若者の郷集客機能向上事業【新規】（1,945千円）
・利用者ニーズが高く，集客力が弱い季節の集客増に直結することが期待できる農産加工機器の導入を行った。
・「自動麹発酵機」・・・そば味噌を麹から作成。冬期～春期の集客増。
・「油圧搾機」・・・現在ﾄﾏﾄｼﾞｭｰｽ製造が可能だが，本機器導入によりﾘﾝｺﾞｼﾞｭｰｽ等の製造も可能となる。秋～冬期の利用者増。
・「全自動製氷機」・・・ｿｰｾｰｼﾞ作り等。経年劣化機器の更新。

事業の効果

◆「若者の郷活性化協議会」において，引き続き地域住民等の参画・協力のもと「江丹別若者の郷」の活性化策等を検討することができる。
◆倒伏危険木を伐採することにより，将来の並木再生に向け，当面する危険を除去することができる。
◆地域資源を活用した農畜産試作メニューや体験型集客メニューを研究開発することができる。
◆テニスコート補修により，施設利用者の増加につなげることができる。

平成27年度事業の概要

1．事業概要

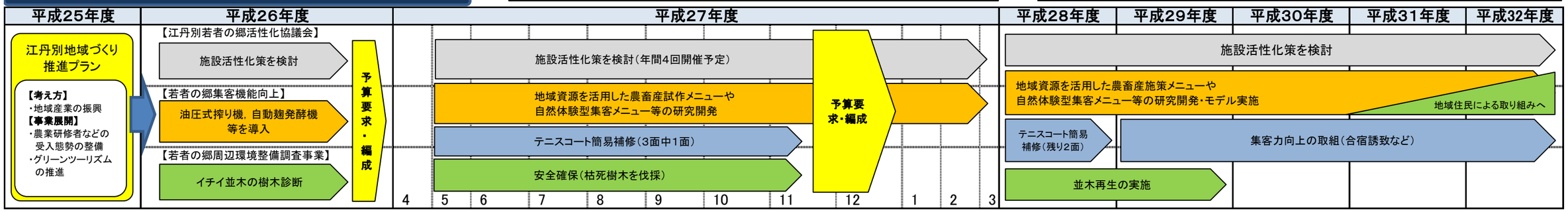
平成27年度は，前年度に引き続き，地域住民等から構成される若者の郷活性化協議会において施設活性化策を協議するとともに，地域資源を活かした農畜産試作メニューや自然体験型集客メニュー等の研究開発，集客力向上のためのテニスコート簡易補修（3面中1面）並びに危険除去のため樹木医から指摘を受けた倒伏危険木の伐採を行う。

2．事業内容

1．若者の郷活性化協議会の開催　（52千円）
・前年度に引き続き，地域住民等から構成される「若者の郷活性化協議会」にて地域資源を活かした施設活性化策（年間を通じた体験型集客コンテンツ）等を外部専門家の助言も得つつ協議する。
・委員謝金（市内委員@2,000円×4回×5人，市外委員1人：交通費相当額）

2．若者の郷周辺環境整備事業【拡充】（4,934千円）
・樹木診断の結果，全70本中，樹種：イチイ69本，トウヒ1本
・イチイ69本中，枯死・樹勢回復見込無し25本，内部腐朽率50%以上20本，成長不良24本。（内部腐朽率50%以上とは非常に高い危険性があり直ぐに倒伏・枝折れにつながる恐れのある状況）
・全体のうち45本が倒伏・枝折れの危険が高く直ちに伐採が必要な状況。
・H27年度は，危険除去のため道路側の倒伏危険木24本と一部山側についても必要なものを伐採する。
・新植する樹種については若者の郷活性化協議会で検討していただく。

3．若者の郷集客機能向上事業【拡充】（7,000千円）
（1）自然体験型集客メニュー等研究開発費【拡充】（1,000千円）
・森林浴・トレッキングなども取り入れた自然体験型集客メニューの研究開発。
（例）虫取り，魚釣り，キノコ・山菜・メイプルシロップ取りなど季節毎の自然の恵み，森林浴，農産加工体験等を複合的に活用した集客メニュー，市営牧場や周辺農地を活用した冬のアクティビティの研究開発。
・地域資源を活用した農畜産試作メニュー（そば味噌等）の研究開発。

（2）テニスコートの簡易補修（3面中1面）【拡充】（6,000千円）
・老朽化が著しいテニスコートの簡易補修を行い一般利用者等の増につなげる。
・将来的（3面の補修が完了した時点）には，道内高校・大学等のスポーツ合宿誘致等を本格的に進める。

事業展開イメージ